

開催期間:

2012年3月14日から2012年10月31日

簡潔な短い文章にしてください。やっつけ仕事禁止

スタッフ:

23members

簡潔な短い文章にしてください。やっつけ仕事禁止

支援者:

Nothing But Nets の運動を理解し、ご協力いただいた横浜市民や企業や団体

簡潔な短い文章にしてください。やっつけ仕事禁止

予算:

1,084USドル

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

利益／損失:

5,407USドル

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

誰の為に？

・マラリアに苦しむ世界中の子供

## 目的:

Nothing But Nets自体は日常的にマラリヤに苦しむアフリカの人々へ殺虫効果のある蚊帳を配布し、その感染を防ぐことを目的とします。

そして今回従来からの募金方法も含め、より効率的に、且つこの運動を更に認知させる効果的で持続可能な手法を構築します。

3 行程度 400 字以内

Nothing But Netsの活動は、JCI Japan では主に街頭募金や専用自動販売機の売上の一部により行われてきました。

この募金方法は従来からの募金活動として定着し、確立されたものとなっています。しかし、場所と時間が限定されているため運動の内容が定着せずにはいました。

その問題点を解決し、且つ募金する側のメリットも考えた方法を構築し改善を計りました。

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

## 概要:

2008年に国連で採択されたミレニアム目標(MDGs)の中に「マラリアの蔓延・防止」があります。  
それまでの我々は、貧困や内戦などによりアフリカに住み暮らす人々の惨状を知ってはいても、その具体的な内容を知らず、解決に導ける方法を知らずにいました。  
そしてご存知の通り2008年以降、世界中のJCメンバーにより共通の認識のもと、「Nothing But Nets」としてミレニアム開発目標の達成を目標に運動を展開してきました。

2012年

日本における景況感の低迷はここ横浜も同様です。不況です。

従来の手法(街頭募金、自動販売機の設置)だけではその達成が難しいと我々は JCI 横浜は考えた。

その活動を更に多くの人に伝播させ、共通の問題として定着させることのできる、画期的で持続可能な方法の構築を目指しました。

従来の“街頭募金活動”と、“専用自動販売機の設置により得られた売り上げの一部募金”に加え

- 企業人であるJCメンバーの会社を利用。

購入備品類の割引制度を利用した募金。

企業で購入した備品類(オフィス家具や文房具)の割引率の内、最大で7%が募金に当てられます。

経済効率と募金を一体にした手法。

- 健康診断や人間ドックの受診による売り上げの一部募金

JCメンバー或いはJCメンバーの所属する企業や団体向けに、特別価格の健康診断や人間ドックを設け(通常価格の20%引き)、その売り上げの5%を募金に当てます。

JCメンバーの健康に対する意識の向上と、それにより募金された側の健康への配慮もなされた手法。

全部で400字以上

主語を忘れないこと、単語は7つ以下で1文とすること

**結果：**

- ・JCI横浜は当プログラムを通じてCommunityに対して、UNMDGsに関心を高めた。
- ・JCI横浜は当プログラムを通じてUNMDGSに自発的に取り組む市民を育成した。

## 行動:

2012年1月下旬:これまでの運動の経緯と、現状の把握のための調査  
2012年2月上旬:メンバーから募金手法の募集  
2012年2月中旬:選ばれた募金手法の精査と研究  
2012年2月下旬:立案と調整  
2012年3月上旬:必要備品やマニュアルの作成  
2012年3月中旬:事業実施(10月31日まで)  
2012年3月下旬~4月下旬:PR活動  
2012年10月31日:事業終了  
2013年度の同運動にも採用されることが決定。

## 考察や推奨

- ・当プログラムを通じて、UNMDGsという言葉がCommunityに浸透した。
- ・2012年7月に開催されたUNMDGsフォーラムに多くの市民が参加した。